

年金削減 介護危機 医療改悪 ストップ

高齢者の人権、尊厳を大切に政治に

日本共産党



物価高騰が高齢者を直撃。なのに、自民・公明の政権のもとで年金は下げられ、介護サービスは崩壊の危機に瀕し、医療費の窓口負担はふえるばかり…。高齢者の尊厳をふみにじる冷たい政治は、現役世代にも不安を広げています。

テレビ党首討論では、「現役世代のための高齢者負担増」を問われて、維新、国民は賛成。立民も条件つきで手を挙げました。日本共産党は、世代間の対立をあり、高齢者を「じゃま者扱い」する政治を変えるためにがんばります。

物価高にあわせ、年金支給額アップ

「マクロ経済スライド」という年金実質削減の仕組みを撤廃し、物価や賃金の上昇に追いつくように年金を引き上げます。年金の積立金は株投資ではなく、給付の維持・拡充のために使います。

介護サービスの充実へ 国の支出をふやすことがカギ

介護事業所の倒産、人手不足…。介護サービスを良くするために、公費負担を現行5割から6割にふやします。かつては自公政権も公約していた政策です。やる気さえあればできます。

不公平を拡大する 医療費の負担増ストップ

病気にかかりやすくなる高齢者の医療費負担をふやすのは、高齢者ほど負担を重くする不公平なやり方です。70歳以上の窓口負担を一律1割に引き下げます。国保料の引き下げをはかります。

日本共産党の
緊急提言・
全文はコチラ



社会保障の拡充 経済成長の土台に

日本の社会保障の公的支出は、他の先進国に比べて低いと政府も認めます。年金増は家計をあたため、消費をふやす。介護への国の支出をふやせば、雇用を守り、地域経済も潤う—高齢者の人権と尊厳を守ることは、経済成長と社会発展の土台となります。



2024年 秋号外

発行／日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111

「しんぶん赤旗」をご購読ください 日刊●月3,497円（電子版もあります） 日曜版●月990円